教科	数学	科目	数学I上	年次	1	単位数	2
使用教科書		高校数学 I (実教出版)					
(副教材など)		尚仪数子 1 (夫教山版)					

学習 目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指します。 (1) 数と式、2次関数についての基本的な概念の理解を深め、基礎的な技能の習熟を図ります。 (2) 中学校で学習した内容について、確実な習得を図ります。 (3) 事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てます。				
	① 知識・技能	数と式、2次関数における基本的な概念、原理・法則、用語・記号など基礎的な知識 を理解し、事象を数学的に考察し、表現し処理する能力を身に付けている。			
評価の 観点	② 思考・判断・表現	数と式、2次関数において、数や式を目的に応じて適切に変形する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、また推論の方法を身に付けている。			
	③ 主体的に学習に取 り組む態度	数学的活動を通して、数と式、2次関数における考え方に関心を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。			
評価の 方法	定期考査に加え、提出物 (ノート、学習プリント等)、小テストの成績などで総合的に評価します。また、平常の 取組についても評価の対象とし、授業態度や参加姿勢に加え、思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。				

	単元	学習内容
	1 整式 2 実数	<ul> <li>・中学校までの基礎計算を確認し、正しい計算の方法を理解します。</li> <li>・単項式、係数、多項式、項、定数項、同類項、n 次式などの用語の意味を理解し、式についての見方を豊かにします。</li> <li>・指数法則、単項式の乗法について理解し、さらに分配法則を用いて整式を展開することを学習します。</li> <li>・式の一部を一つの文字に置き換えて考えるなど、見通しをもって因数分解することができるようにします。</li> <li>・自然数、整数、有理数、無理数の意味を理解します。さらに、実数について学習するとともに、数を拡張することに興味をもたせるようにします。</li> </ul>
前期	3 方程式と不等式	<ul> <li>・根号を含む式の基本的な計算について理解します。また、分母の有理化について学習し、それを活用できるようにします。</li> <li>・中学校で学んだ1次方程式について、等式の性質をもとにして方程式が解けることを確認します。</li> <li>・実際に1次方程式を解くことができるようにします。</li> <li>・不等号の意味や性質を理解し、数量の大小関係を不等式で表すことを学習します。</li> <li>・不等式の性質を用いて不等式を変形し、解くことができるようにします。</li> <li>・問題文に合う式を適切に立て、文章題を解決する方法について学びます。</li> <li>・連立不等式を解くことができるようにします。</li> </ul>
後期	4 関数とグラフ	<ul> <li>・関数の概念の理解を確実にします。</li> <li>・グラフの意味について学習し、1次関数のグラフについて理解を深めます。</li> <li>・具体的な事象から、2次関数の概念を理解して、2次関数のグラフの特徴や平行移動について学び、そのグラフをかくことができるようにします。</li> <li>・2次関数 y=ax²+bx+c を y=a(x-p)²+qの形に変形し、そのグラフをかくことができるようにします。</li> </ul>
	5 2次関数の値の変化	・2次関数の最大値・最小値についてグラフを利用して理解し、それらの値を求めることができるようにします。また、それを利用して文章題を解決する方法について学びます。 ・2次関数のグラフと2次方程式の解の関係を理解し、グラフと x 軸の共有点の x 座標を求めることができるようにします。 ・2次関数のグラフと x 軸の共有点の位置関係から2次不等式の解の意味を理解し、グラフを利用して2次不等式を解くことができるようにします。